

# 佐賀支部の医療費の動向

---

2017年度版

# 目次

---

---

1. 目次
2. 医療費に関連する指標
3. 佐賀支部の医療費の推移
4. 佐賀支部と協会けんぽ全体の医療費の伸び率の推移
5. 佐賀支部の1人当たり医療費と伸び率の推移
6. 佐賀支部の1人当たり医療費と伸び率の推移（全国平均との比較）
7. 支部別の29年度1人当たり医療費（全国平均との比較）
8. 支部別の29年度1人当たり入院医療費と医療費の3要素（全国平均との比較）
9. 支部別の29年度1人当たり入院外医療費と医療費の3要素（全国平均との比較）
10. 佐賀支部の29年度1人当たり医療費と医療費の3要素（全国平均との比較）
11. 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別入院・入院外医療費
12. 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別入院医療費の割合
13. 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別の1人当たり入院医療費
14. 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別入院外医療費の割合
15. 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別の1人当たり入院外医療費
16. 佐賀支部の29年度疾病分類別入院医療費の割合
17. 佐賀支部の29年度疾病分類別入院外医療費の割合
18. まとめ

---

## 【留意事項】

- 医療費の数値は、社会保険診療報酬支払基金集計の数値（確定ベース）を公表値としているが、協会けんぽが分析用に独自に集計した数値（算定ベース）を用いる場合もある。確定ベースの数値は、レセプト査定分を考慮しているため、両者の数値は必ずしも一致しない。
- 医療費は、診療費（入院、入院外、歯科）・薬剤支給・入院時食事療養・生活療養費（標準負担額差額支給を除く）・訪問看護療養費・療養費等の集計値である。なお、算定ベースの入院外には調剤分が含まれる。
- 各年度の1人当たり医療費等は、各年度の総医療費を各年度の平均加入者数で割ったものである。
- 疾病分類コードは、レセプトに主傷病フラグがある場合はその疾病を、主傷病フラグがない場合はレセプトの記載順で先頭の疾病をもとに抽出してある。
- 年齢調整はしていない。

## 医療費に関連する指標

---

### ～医療費統計に関連する指標について～

○医療保険に関する統計は、基本的に、医療機関が作成するレセプト（診療報酬明細書）を集計した「件数」、「日数」、「点数」をもとに作成されています（「レセプト統計」）。レセプトは、患者1人につき1つの医療機関で毎月1枚作成することになっています。そのレセプトの枚数をカウントしたものを「件数」、レセプトに記載された診療実日数（同一の医療機関に通った（または、入院した）日数）を合計したものを「日数」、また、レセプトに記載された診療報酬の点数を合計したものを「点数」といい、「点数」は1点＝10円として医療費に換算されます。

○受診率は、一定期間内に医療機関にかかった人の割合を表す指標です。したがってある地域で受診率が全国平均よりも高いということは、医療機関にかかる者の割合が高いということであり、受診率の伸び率が高いということは医療機関にかかる者の割合が増えているということです。

○1件当たり日数は、1つの疾病の治療のために医療機関に通った日数（または、入院した日数）を表し、診療実日数をレセプト件数で割ったものです。疾病の治療期間が長期にわたっていても、月が変わるとレセプトも新たに作られるので、1件当たり日数は必ずしも初診日からの治療日数や入院期間の累計を表すものではありません。しかし、入院の1件当たり日数が多ければ、概ね入院期間が長く、入院外の1件当たり日数が多ければ、通院頻度が高いものと考えられます。

○1日当たり医療費は、医療費の単価を表し、診療費を診療実日数で割ったものです。1日当たり医療費が高いということは、1回の診療あるいは1日の入院でかかる費用が高いということです。

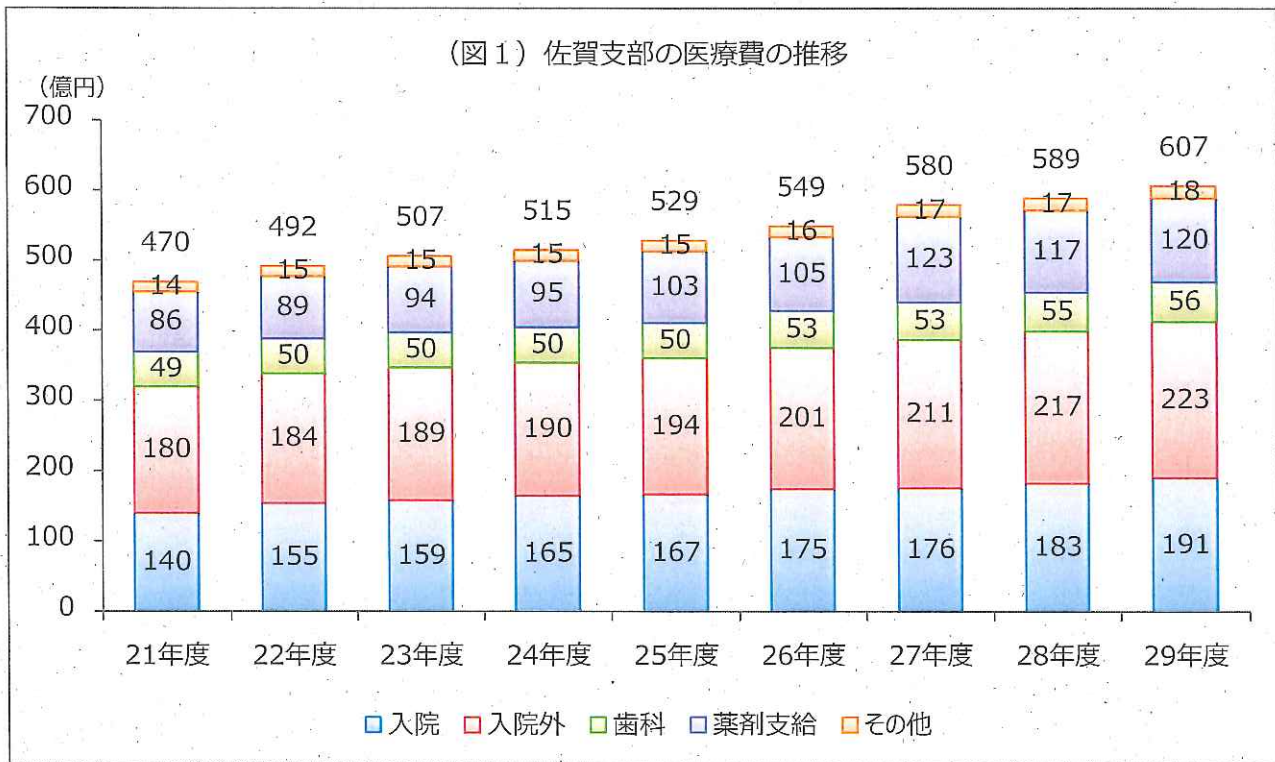
### ～医療費統計に関する計算式～

- ・医療費＝1人当たり医療費×人数
- ・1人当たり医療費＝医療費/人数
- ・1人当たり医療費＝受診率×1件当たり日数×1日当たり医療費（医療費の3要素）
  - ・受診率＝件数/人数（単位は件/千人）
  - ・1件当たり日数＝日数/件数
  - ・1日当たり医療費＝医療費/日数

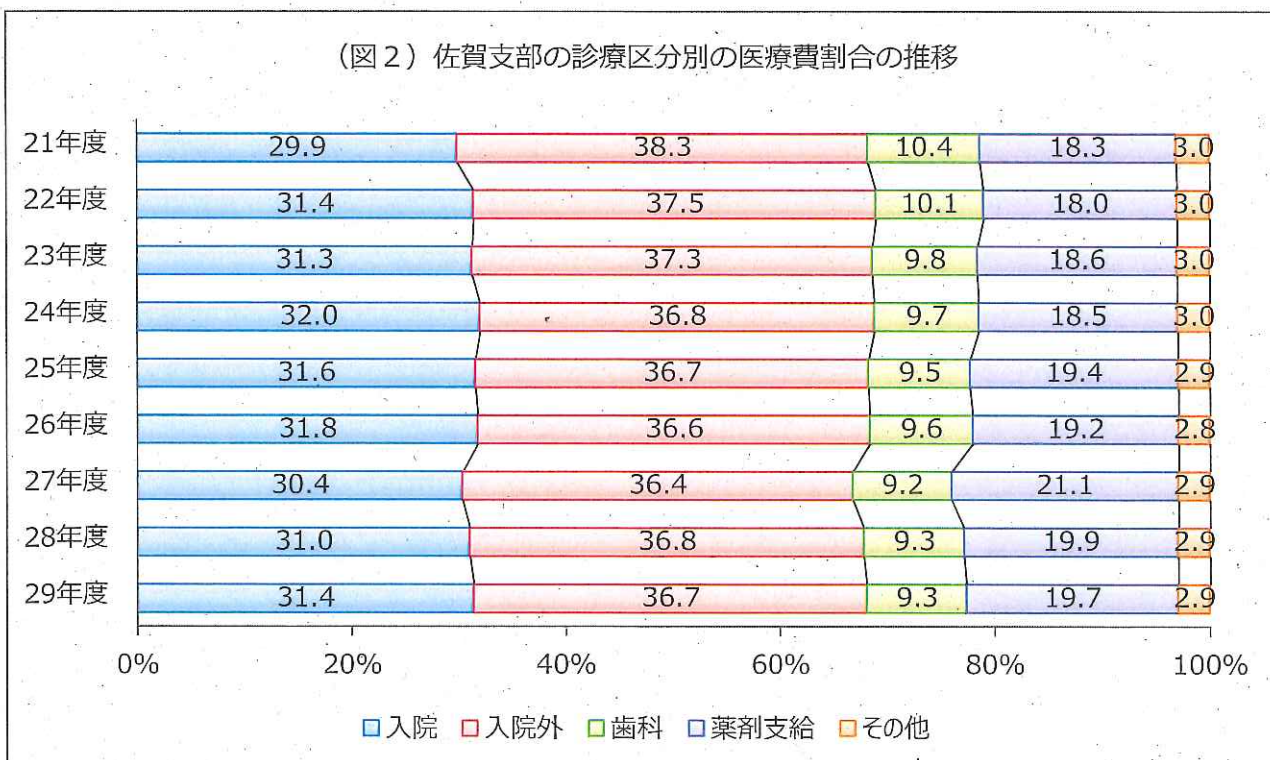
## 佐賀支部の医療費の推移

29年度の佐賀支部の医療費は、約610億円となっており、前年度より約20億円増加しました。増加の主な内訳は、入院が約8億円、入院外が約6億円、薬剤支給が約3億円となっています。（図1）。

また、診療区分別の医療費割合の推移は、入院（21年度29.9%→29年度31.4%）と薬剤支給（21年度18.3%→29年度19.7%）が増加傾向にあります。入院外（21年度38.3%→29年度36.7%）と歯科（21年度10.4%→29年度9.3%）が減少傾向となっています。（図2）。



※確定ベースで算出。



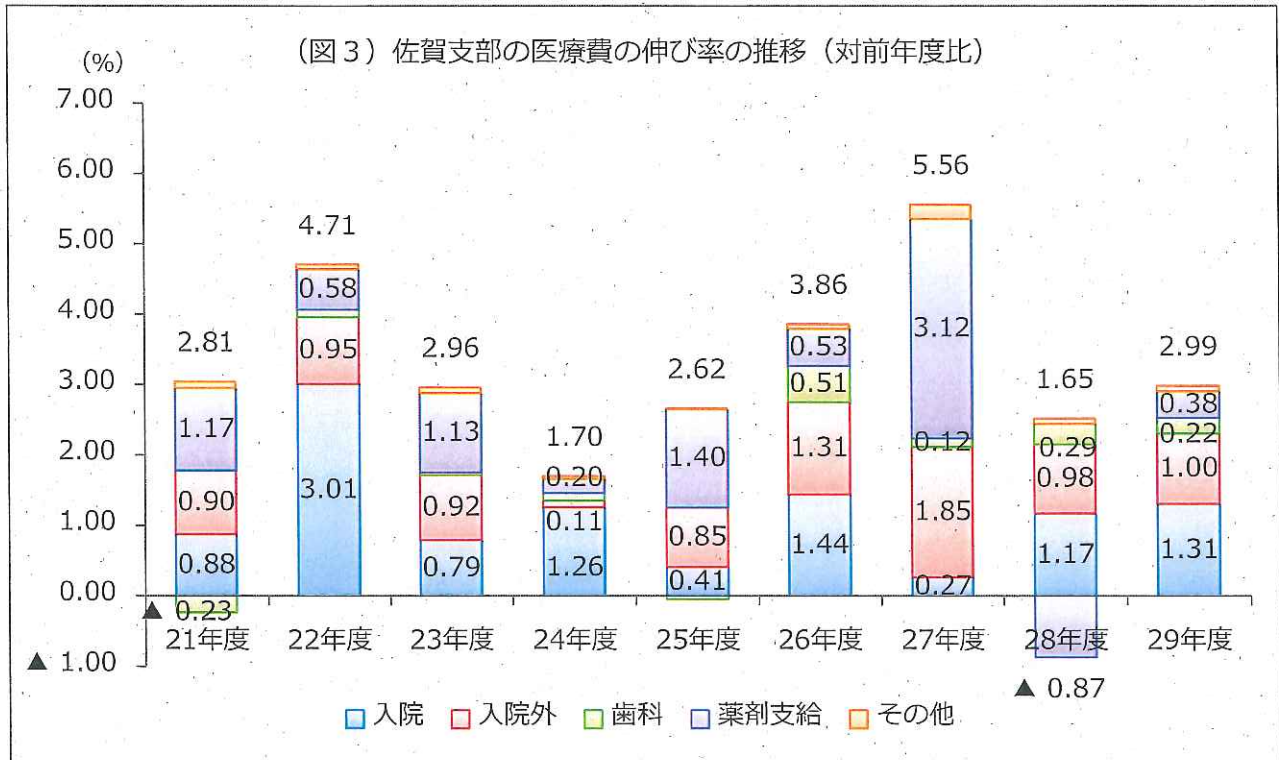
※確定ベースで算出。

## 佐賀支部と協会けんぽ全体の医療費の伸び率の推移

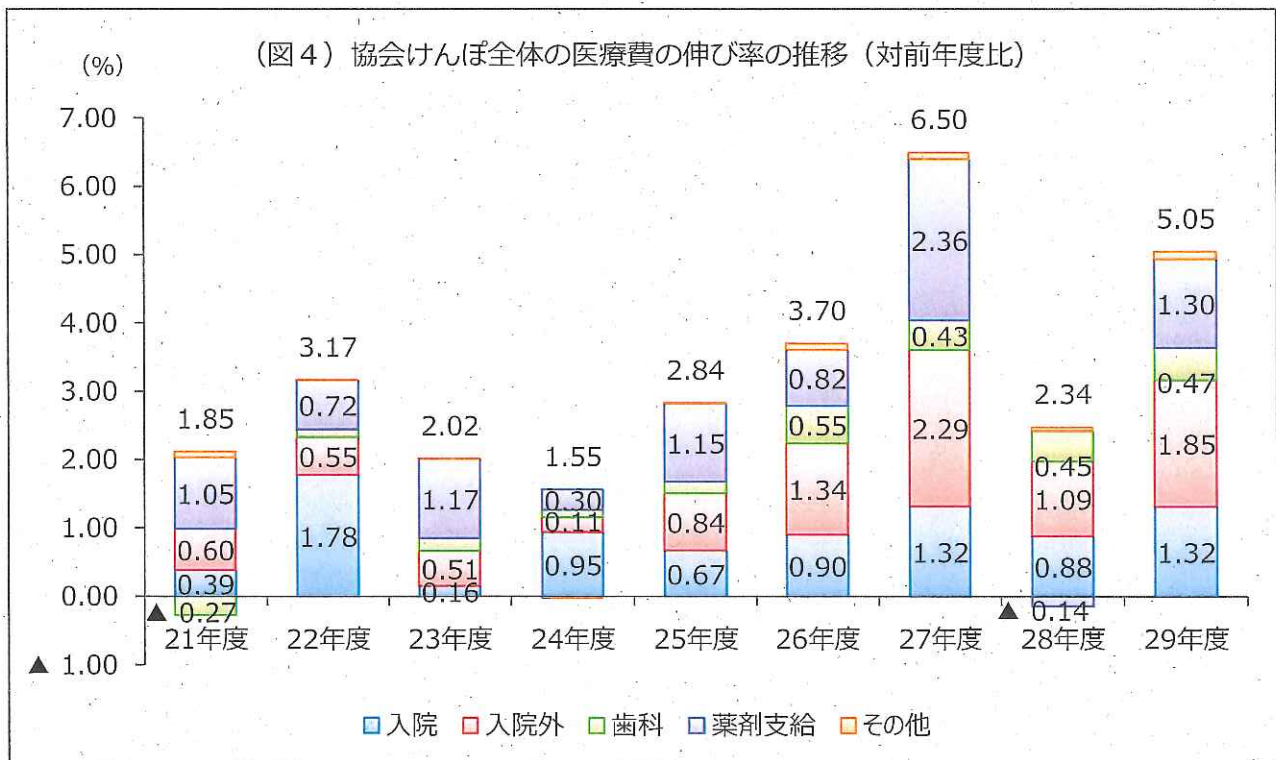
29年度の佐賀支部の医療費の伸び率は、対前年度比+2.99%であり、その主な内訳は、入院が+1.31%、入院外が+1.00%、歯科が+0.22%、薬剤支給が+0.38%です（図3）。

29年度の協会けんぽ全体の医療費の伸び率は、対前年度比+5.05%です（図4）。

佐賀支部の医療費の伸び率は、21年度以降24年度まで協会全体の医療費の伸び率を上回っていましたが、25年度以降26年度を除き下回っています。



※確定ベースで算出。



※確定ベースで算出。  
※0.1%未満の数値は非表示。

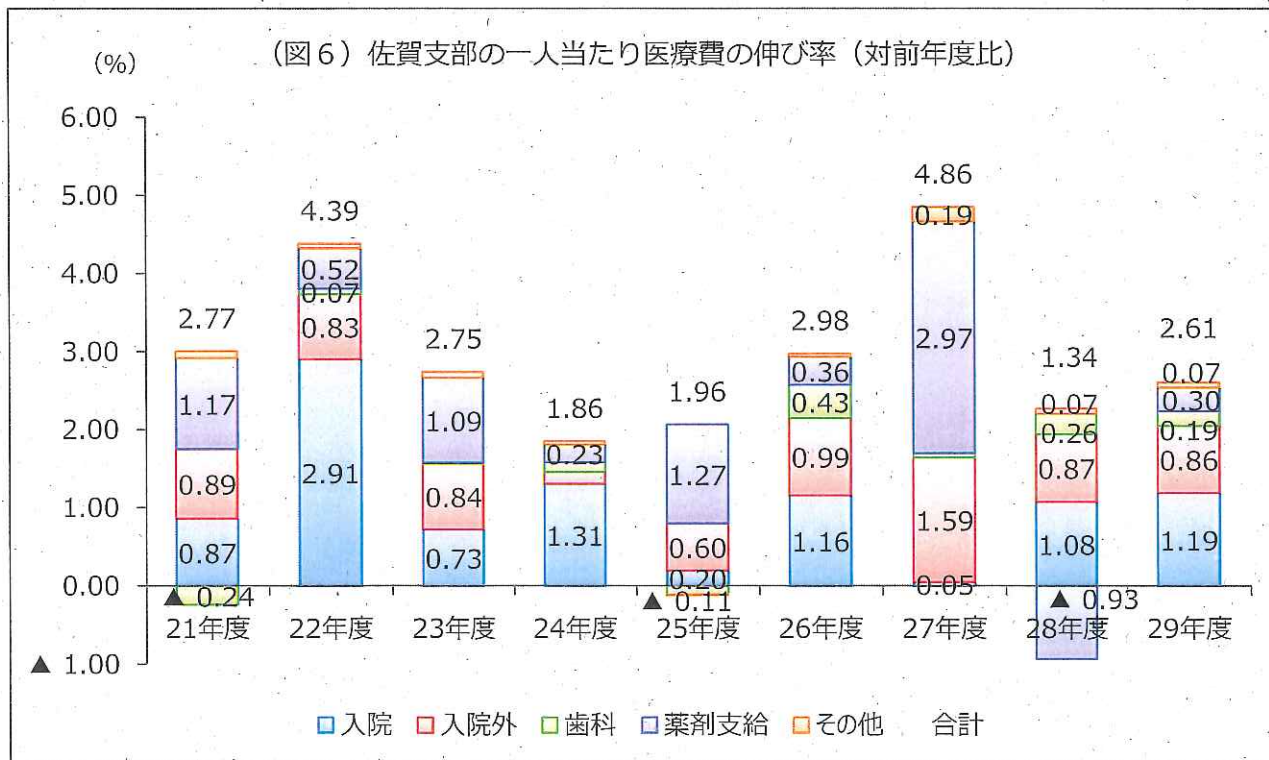
## 佐賀支部の1人当たり医療費と伸び率の推移

佐賀支部の29年度1人当たり医療費は203,824円で、前年度より5,185円増加しました。内訳は、入院が64,029円（対前年度比+2,369円）、入院外が74,732円（対前年度比+1,706円）、歯科が18,935円（対前年度比+371円）、薬剤支給が40,201円（対前年度比+604円）、その他が5,927円（対前年度比+135円）です（図5）。

29年度の伸び率については、対前年度比+2.61%です。内訳は、入院が+1.19%、入院外が+0.86%、歯科が+0.19%、薬剤支給が+0.30%です。薬剤支給の伸び率は、平成28年度の診療報酬改定の影響等により減少したものの29年度は増加しました。（図6）。



※確定ベースで算出。



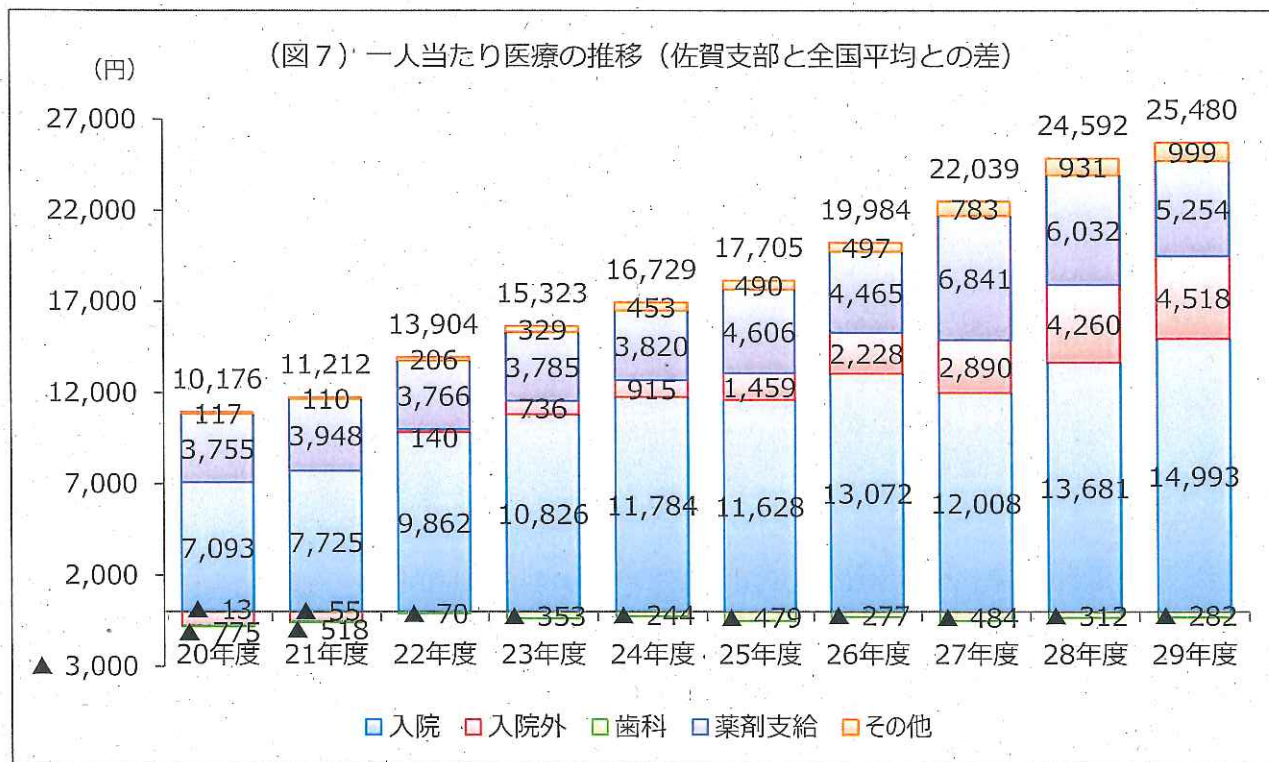
※確定ベースで算出。

※0.1%未満の数値は非表示。

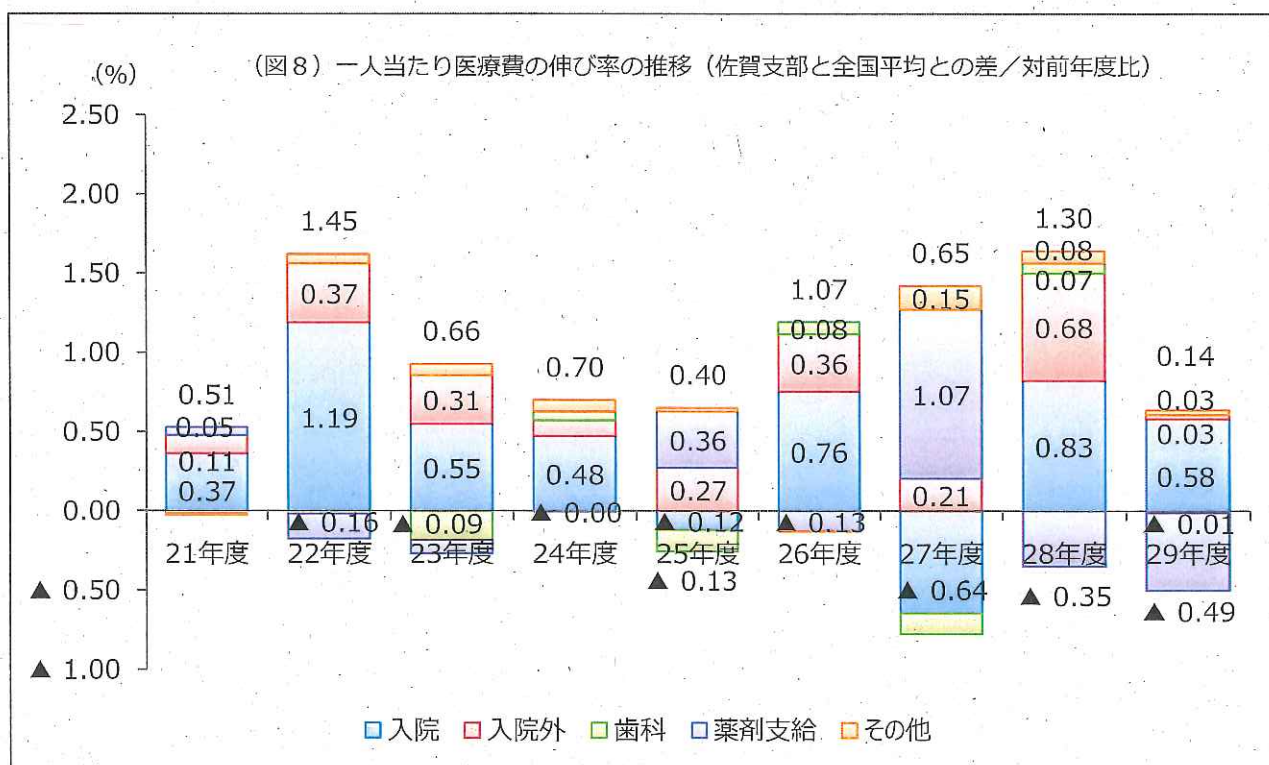
## 佐賀支部の1人当たり医療費と伸び率の推移（全国平均との比較）

佐賀支部の1人当たり医療費を全国平均と比較すると、その差は年々拡大傾向にあります。薬剤支給が▲778円（28年度6,032円→29年度5,254円）でしたが、入院が+1,312円、入院外が+258となった影響で、差が拡大しました（図7）。

佐賀支部の1人当たり医療費の伸び率について全国平均と比較すると、23年度以降は拡大傾向にありましたが、29年度は0.14ポイントの差となりました（図8）。



※確定ベースで算出。

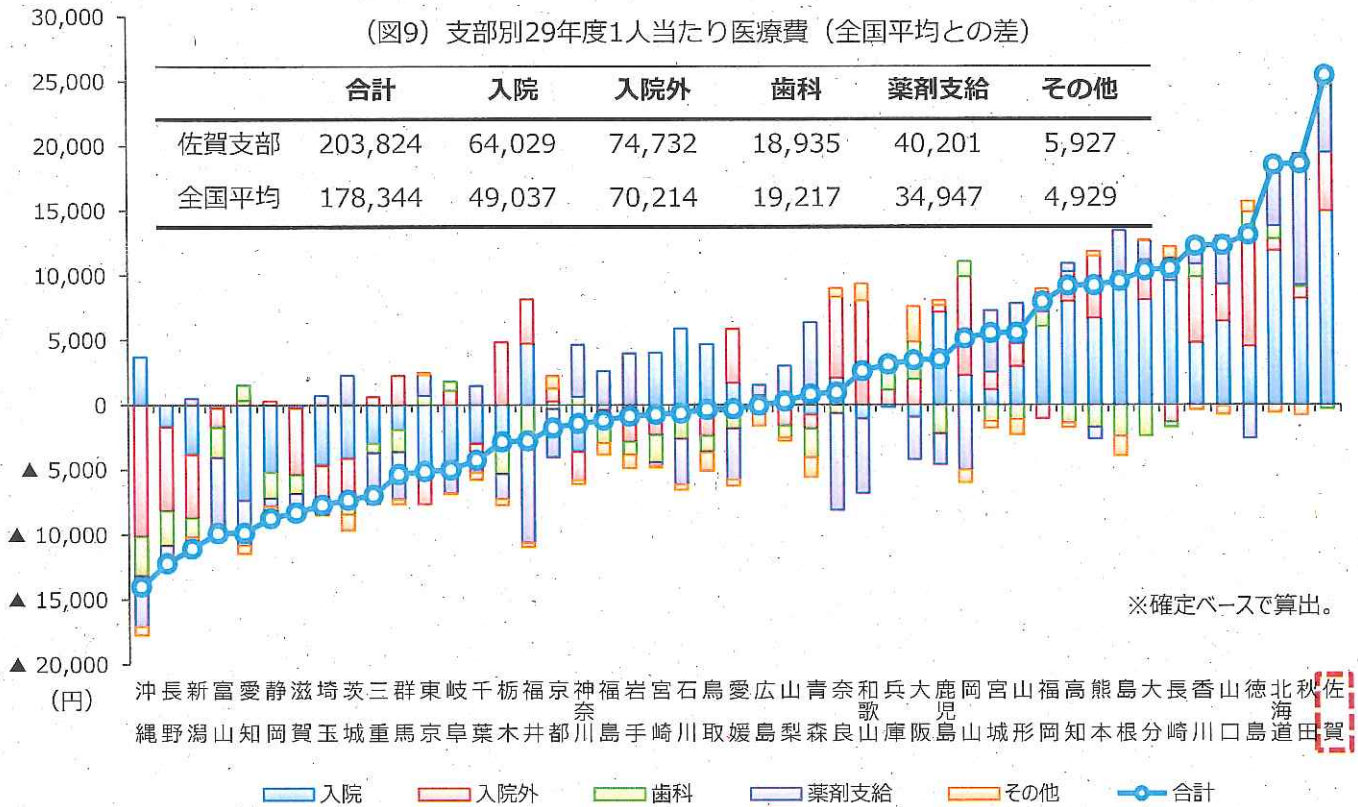


※確定ベースで算出。

※0.01%未満の数値は非表示。

## 支部別の29年度1人当たり医療費（全国平均との比較）

支部別の29年度1人当たり医療費を全国平均と比較すると、佐賀が最も高く、秋田、北海道と続いており、それぞれ入院と入薬剤支給の差が大きくなっています。全国平均との差が低い支部は、沖縄、長野、新潟となっており、いずれも入院外における全国平均との差が大きくマイナスとなっています（図9）。



### (参考)

1人当たり入院医療費について、関東付近は低く、それ以外は高い傾向にあります。九州地方は、宮崎以外は「高い」となっており、佐賀は全国一の高さとなっています。

1人当たり入院外医療費について、西日本が比較的高く、東日本は比較的低くなっています。また、九州地方では、熊本、佐賀、大分が高くなっています。

1人当たり薬剤支給について、北海道・東北地方が比較的高く、西日本では、佐賀、島根、山口が高くなっています。

#### 1人当たり入院医療費が「高い」支部

1	佐賀	64,029
2	北海道	60,974
3	長崎	58,639
4	島根	58,627
5	秋田	57,284
6	大分	57,177
7	高知	57,086
8	鹿児島	56,232
9	熊本	55,769
10	山口	55,531
11	福岡	55,132
12	石川	54,952

#### 1人当たり入院外医療費が「高い」支部

1	徳島	78,815
2	和歌山	78,299
3	岡山	77,824
4	奈良	76,483
5	香川	75,267
6	栃木	75,104
7	熊本	75,028
8	佐賀	74,732
9	愛媛	74,381
10	福井	73,616
11	大分	73,276
12	山口	73,045

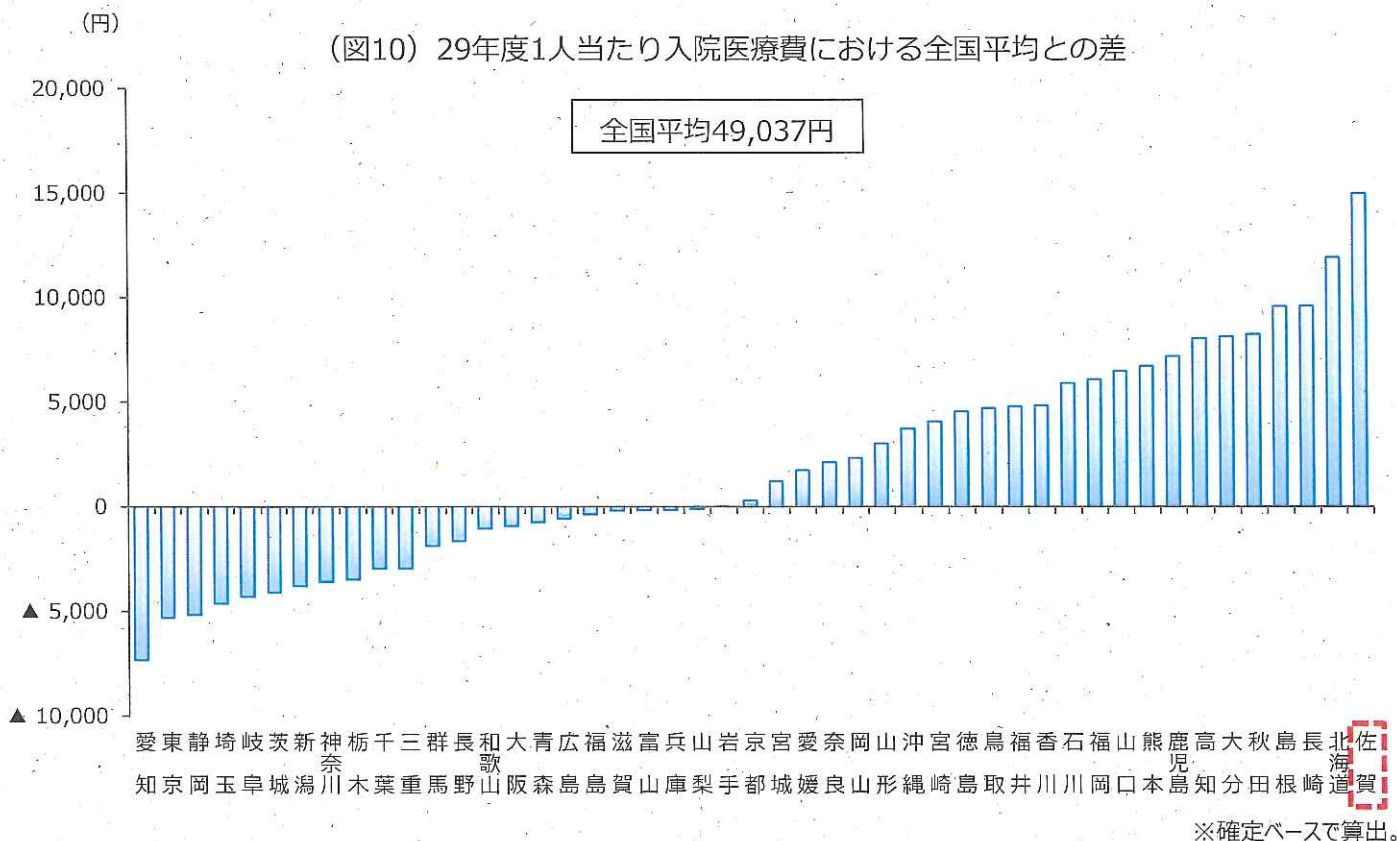
#### 1人当たり薬剤支給が「高い」支部

1	秋田	45,087
2	青森	41,338
3	北海道	40,208
4	佐賀	40,201
5	宮城	39,693
6	神奈川	38,972
7	岩手	38,935
8	島根	38,725
9	山口	38,655
10	山形	38,019
11	山梨	37,982
12	福島	37,581



## 支部別の29年度1人当たり入院医療費と医療費の3要素（全国平均との比較）

支部別の29年度1人当たり入院医療費を全国平均と比較すると高いほうから佐賀、北海道、長崎となっています。特に、九州地方は、高い傾向にあります（図10）。



### (参考)

入院受診率について、1人当たり入院医療費の分布と同じような傾向となっています。九州地方については、高い傾向となっています。

1件当たり入院日数について、東北・四国・九州地方で多い傾向となっています。

1日当たり入院医療費について、関東・近畿地方で高くなっています。1件当たり入院日数と負の相関関係にあり、日数が多い県は1日当たり入院医療費が低い傾向となっています。

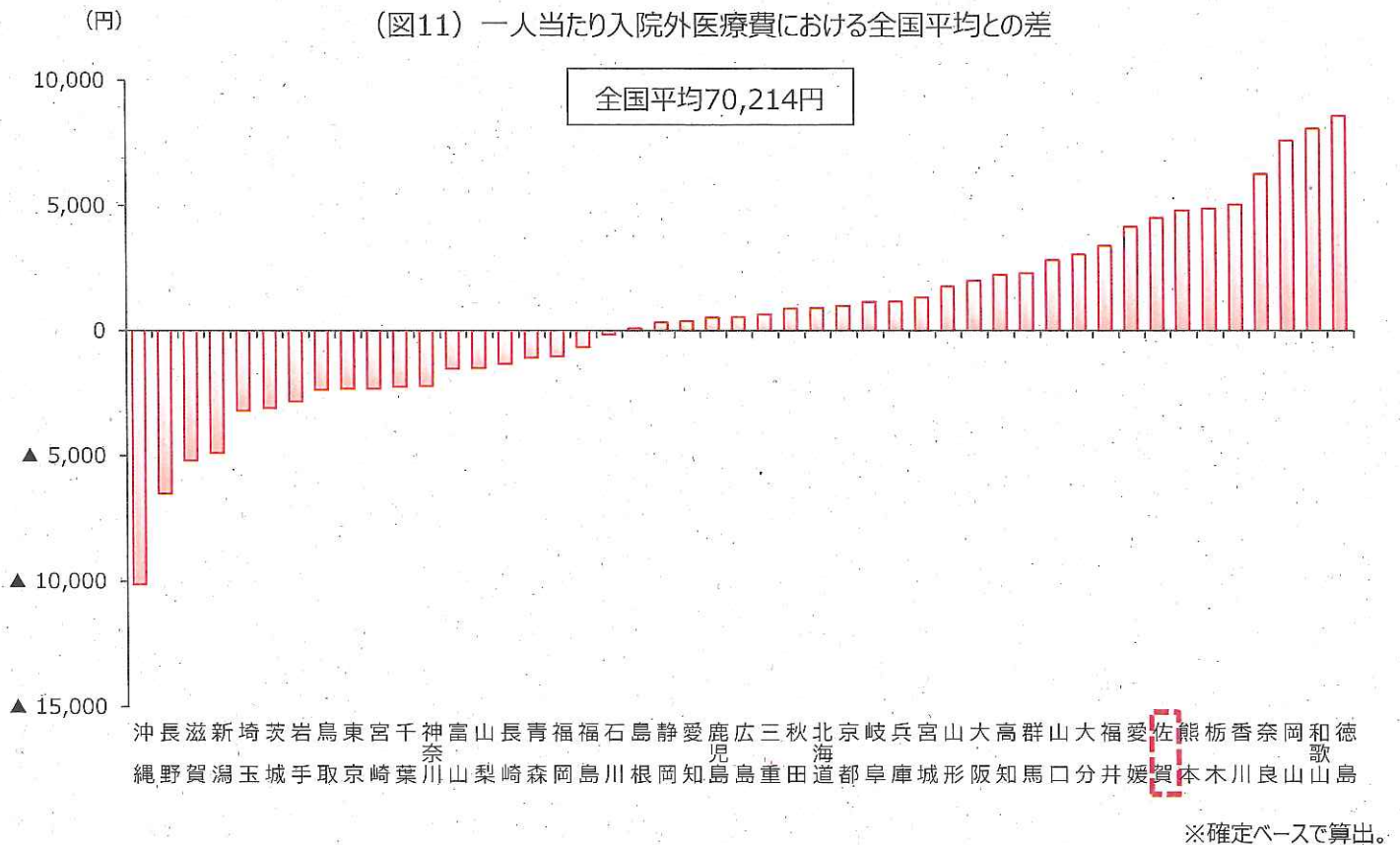
入院受診率が「高い」支部		
1	佐 賀	128.59
2	大 分	126.93
3	長 崎	126.84
4	鹿児島	121.95
5	北海道	120.96
6	熊 本	119.87
7	高 知	116.58
8	秋 田	115.63
9	島 根	115.35
10	宮 崎	113.41
11	石 川	113.11
12	福 岡	110.65

1件当たり入院日数が「多い」支部		
1	佐 賀	11.27
2	秋 田	11.02
3	山 口	10.82
4	高 知	10.65
5	岩 手	10.65
6	熊 本	10.64
7	島 根	10.58
8	山 形	10.53
9	鳥 取	10.52
10	福 井	10.50
11	徳 島	10.47
12	宮 崎	10.43

1日当たり入院医療費が「高い」支部		
1	神奈川	56,696
2	東 京	56,111
3	京 都	54,822
4	大 阪	54,699
5	千 葉	54,233
6	静 岡	53,641
7	兵 庫	53,522
8	愛 知	53,514
9	埼 玉	52,988
10	滋 賀	52,738
11	長 野	52,169
12	北海道	52,020
45	佐 賀	44,189

## 支部別の29年度1人当たり入院外医療費と医療費の3要素（全国平均との比較）

支部別の29年度1人当たり入院外医療費を全国平均と比較すると高いほうから徳島、和歌山、岡山となっています。佐賀は8位の高さとなっており、一番低い沖縄は他支部との差が大きくなっています。（図11）。



### (参考)

入院外受診率について、主に北海道・関東近郊以外の地域が高い傾向となっています。九州では、熊本、佐賀、長崎が高くなっています。

1件当たり入院外日数について、西日本で多い傾向となっています。特に、佐賀、福岡が多くなっています。また、東日本は少ない傾向にあります。

1日当たり入院外医療費について、東日本が高い傾向となっています。1件当たり入院外日数と負の相関関係にあり、日数が少ないと、1日当たり入院外医療費が高い傾向となっています。

入院外受診率が「高い」支部		
1	徳島	6,783.80
2	山形	6,762.52
3	熊本	6,716.62
4	山口	6,691.11
5	和歌山	6,689.48
6	佐賀	6,675.61
7	香川	6,596.59
8	秋田	6,561.27
9	島根	6,525.68
10	宮城	6,455.52
11	長崎	6,440.65
12	群馬	6,434.20

1件当たり入院外日数が「多い」支部		
1	佐賀	1.55
2	福岡	1.51
3	香川	1.48
4	広島	1.48
5	大阪	1.47
6	愛媛	1.47
7	岐阜	1.47
8	岡山	1.46
9	愛知	1.46
10	長崎	1.46
11	宮崎	1.46
12	兵庫	1.45

1日当たり入院外医療費が「高い」支部		
1	北海道	13,794
2	秋田	12,931
3	岩手	12,581
4	茨城	12,568
5	宮城	12,542
6	千葉	12,538
7	福島	12,323
8	長野	12,282
9	新潟	12,234
10	神奈川	12,213
11	沖縄	12,212
12	高知	12,132
46	佐賀	11,097

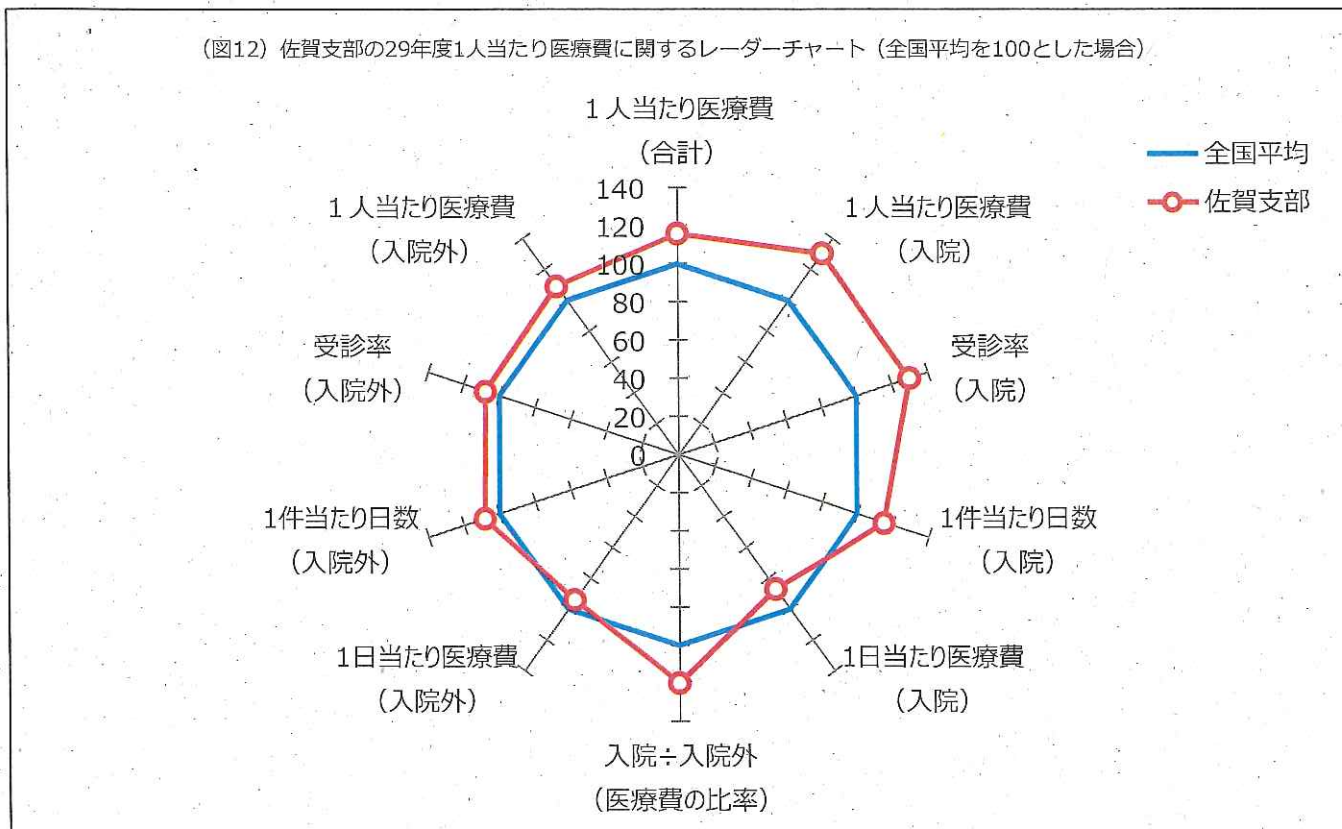
## 佐賀支部の29年度1人当たり医療費と医療費の3要素（全国平均との比較）

佐賀支部の29年度1人当たり医療費と3要素について、全国平均を100とした場合、入院の比率（医療費の比率）および入院受診率が高くなっています。また、入院の1件当たり日数と1日当たり医療費は、負の相関関係となっています。

佐賀支部の医療費が全国平均と比較して高い要因は、入院医療費の高さにあります。さらに、入院医療費が高い要因は、多くの人が同じ医療機関に長期にわたって受診する（受診率の高さと1件当たり日数が多い）ことであると考えられます（図12）。

29年度1人当たり医療費の伸び率について、3要素を比較すると、入院（+0.61%）・入院外（+1.22%）ともに増加し+1.83の伸びとなりました。（図13）。

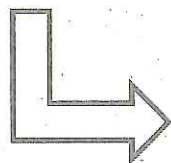
（図12）佐賀支部の29年度1人当たり医療費に関するレーダーチャート（全国平均を100とした場合）



（図13）佐賀支部の29年度1人当たり医療の3要素分解（対前年度比）※1人当たり医療費に、歯科・その他は含まない。

	1人当たり医療費 (円)	入院			入院外		
		受診率 (件/千人)	1件当たり日数 (日/件)	1日当たり医療費 (円/日)	受診率 (件/千人)	1件当たり日数 (日/件)	1日当たり医療費 (円/日)
28年度	175,744	128.90	11.37	42,960	6609.49	1.57	10,854
29年度	178,962	128.59	11.27	44,189	6675.61	1.55	11,097

+1.83%の伸び



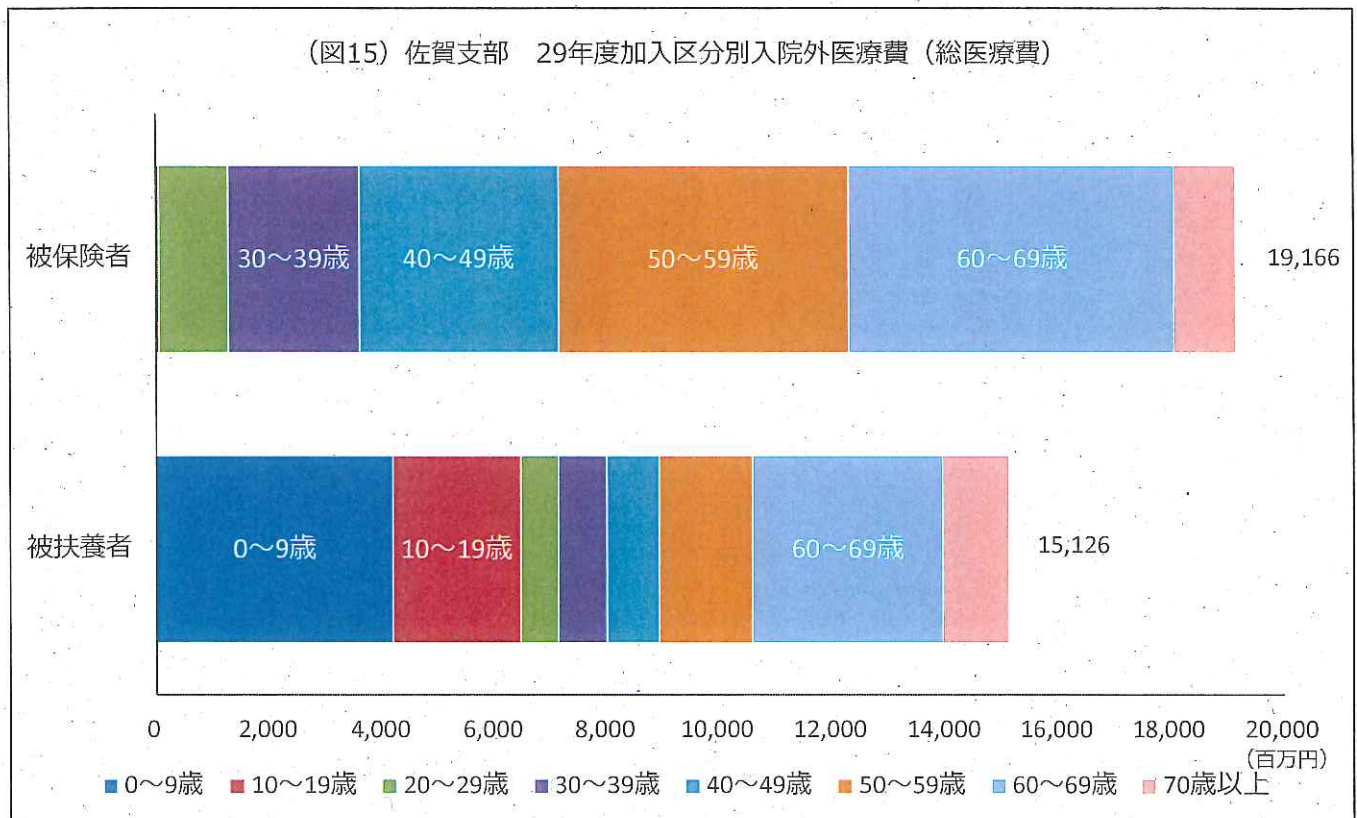
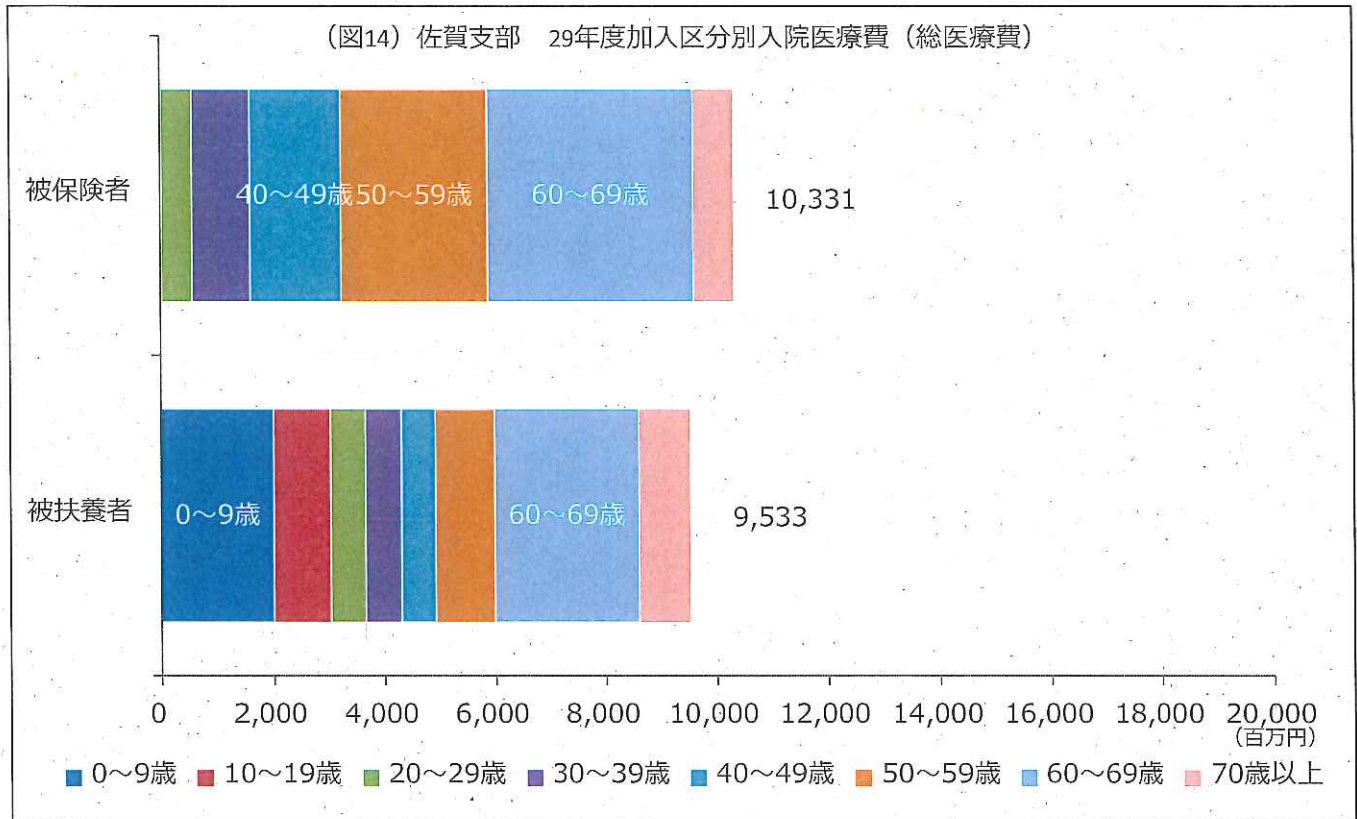
	入院の影響分	入院外の影響分
受診率の要素の影響分	-0.09%	0.65%
1件当たり日数の要素の影響分	-0.33%	-0.87%
1日当たり医療費の要素の影響分	1.02%	1.44%
1人当たり医療費	0.61%	1.22%

※確定ベースで算出。

## 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別入院・入院外医療費

佐賀支部の29年度入院医療費については、被保険者が被扶養者よりも高くなっています。加入区別に年齢階級の割合をみると、被保険者被扶養者共に60～69歳の医療費が高いことがわかります。被保険者の40～59歳の医療費は、被扶養者の同年代の約2.5倍あります（図14）。

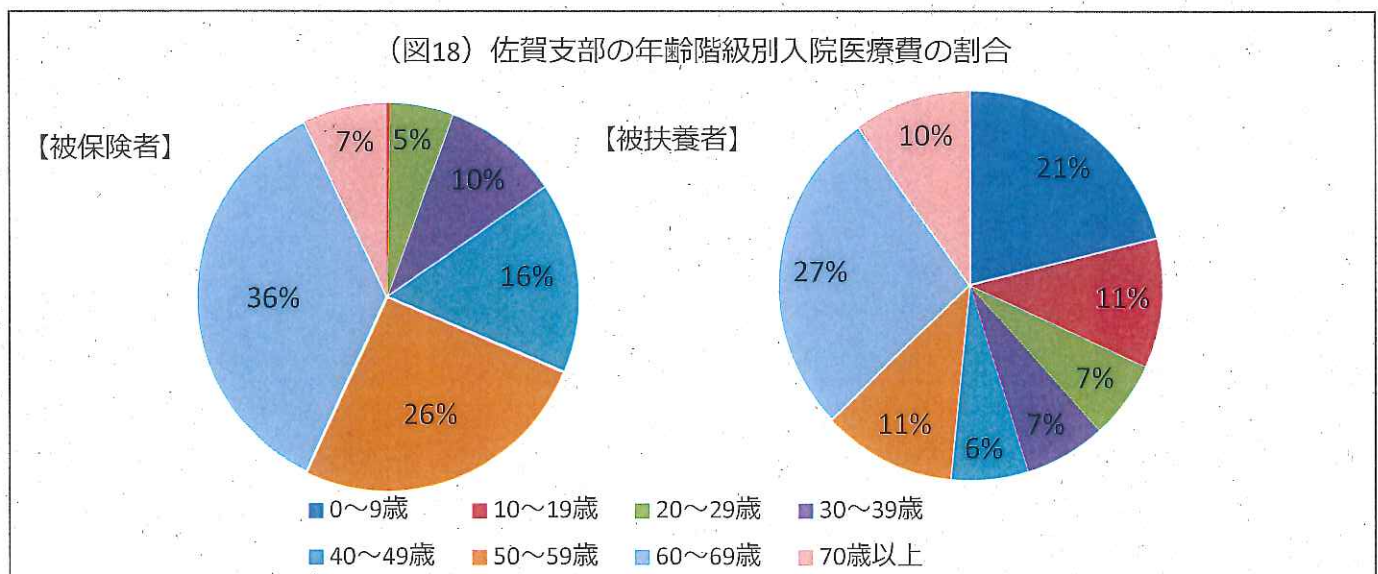
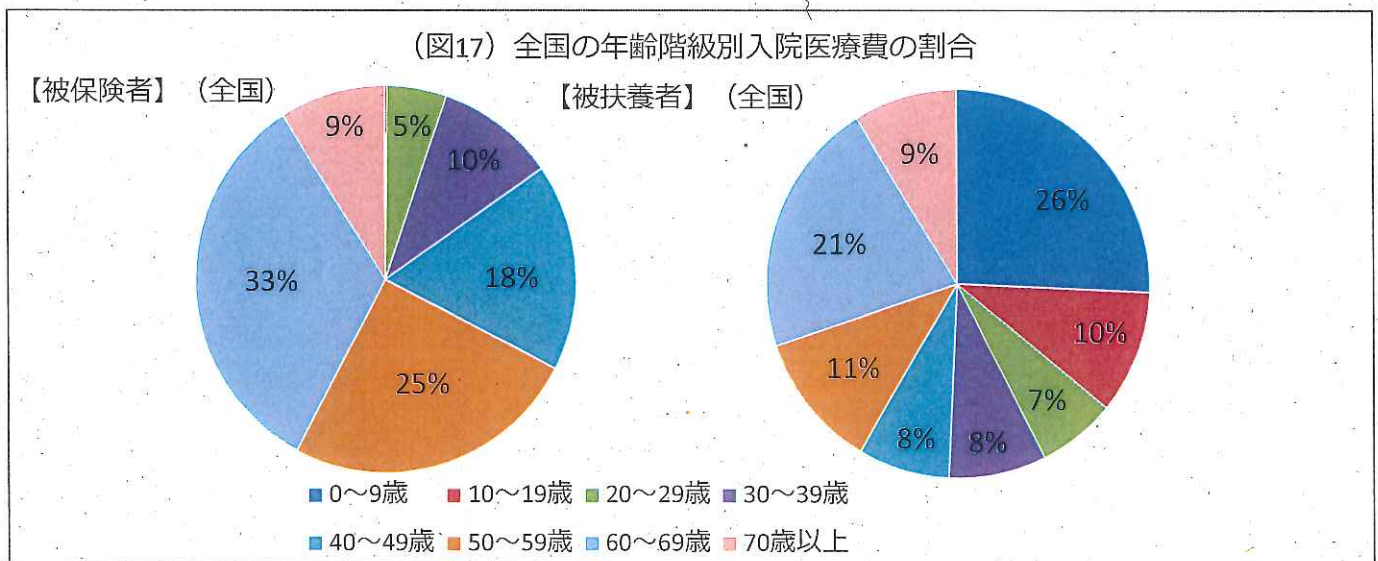
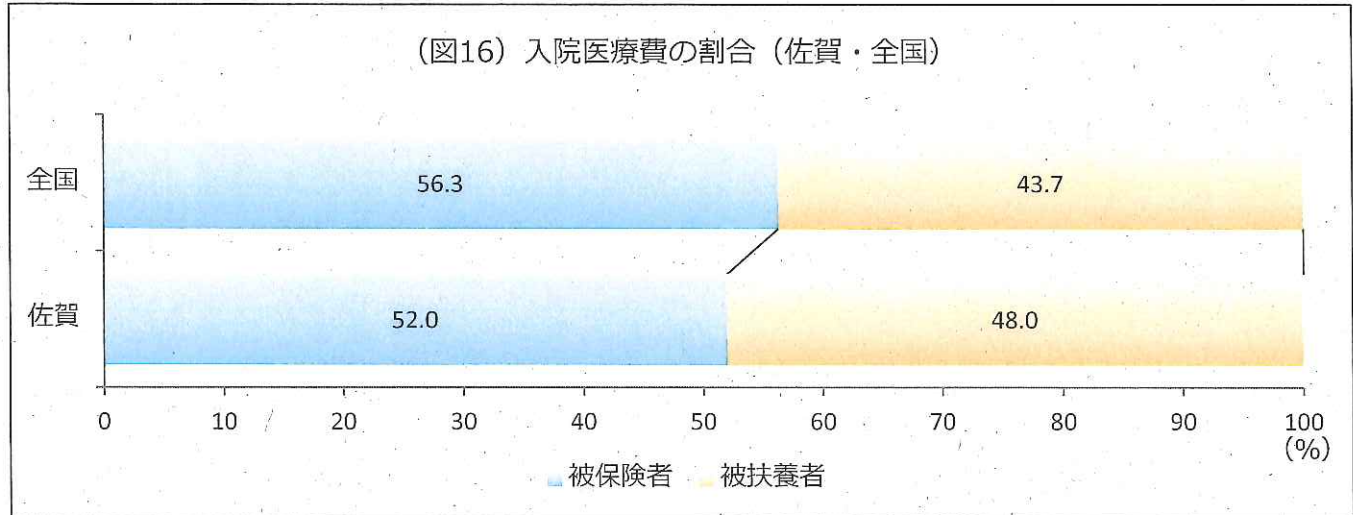
入院外医療費についても、被保険者の方が高く、被保険者の40～59歳の医療費は、被扶養者の同年代の3倍以上あります（図15）。



## 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別入院医療費の割合

29年度入院医療費の割合について、佐賀支部と全国を比較すると、佐賀支部は被扶養者の割合が4.3ポイント高いです（図16）。全国の加入種別に年齢階級の割合をみると、被保険者は40歳以上が約85%を占めており、被扶養者は40歳以上が約50%を占めています（図17）。

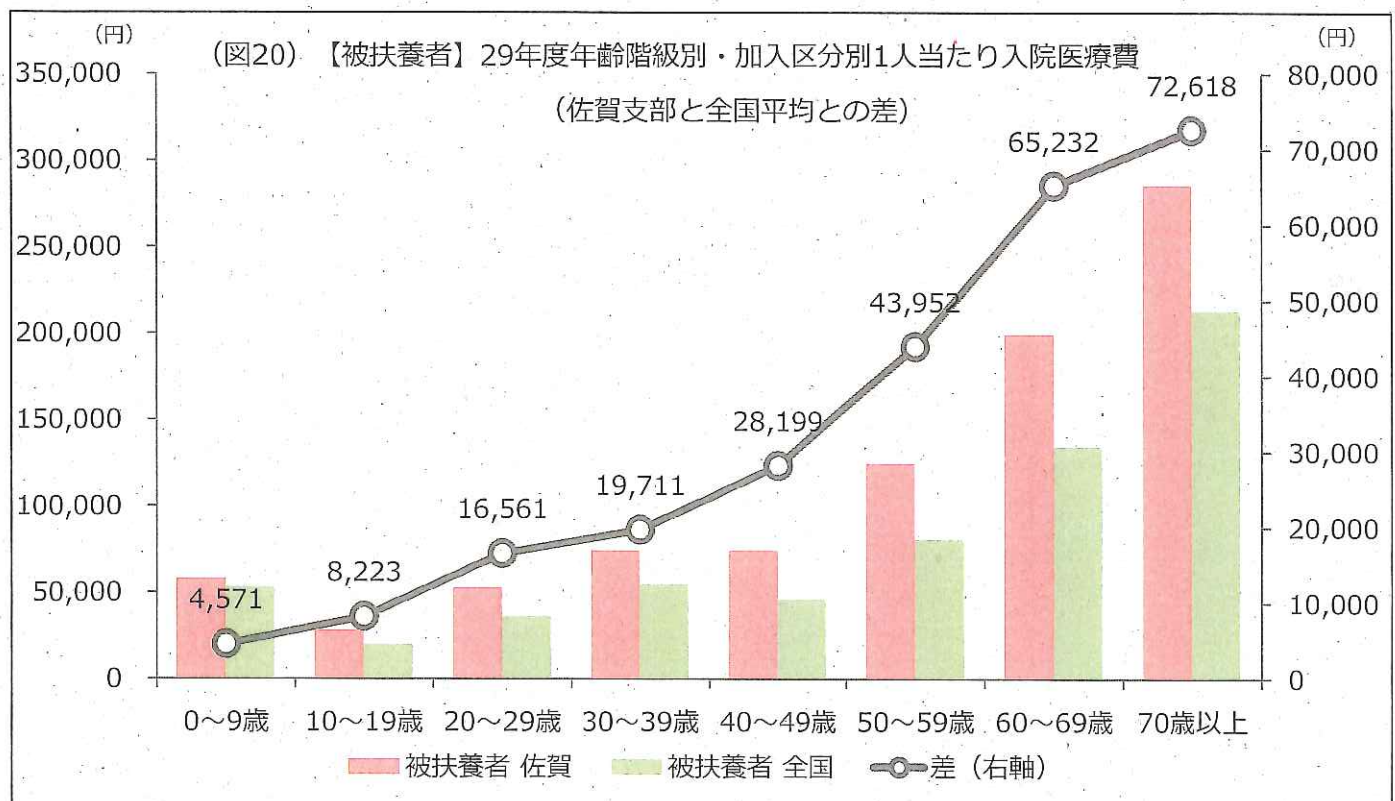
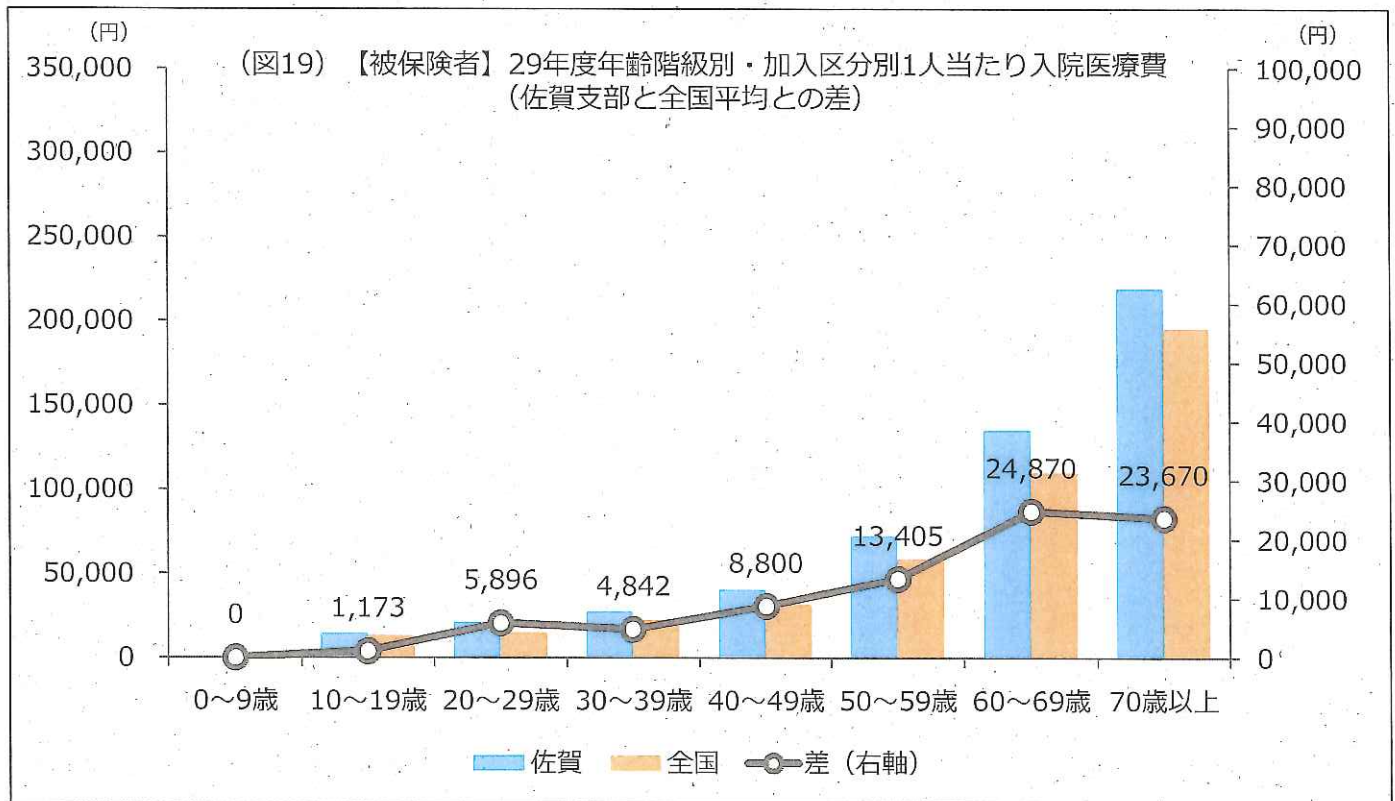
佐賀支部の加入種別に年齢階級の割合をみると、被保険者では40歳以上が約85%を占めており、被扶養者は50歳以上が約50%を占めています（図18）。



## 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別の1人当たり入院医療費

佐賀支部の29年度年齢階級別・加入区分別1人当たり入院医療費について、全国平均と比較すると、被保険者被扶養者共に全国と比べて高く、年齢が上がるに伴い差も大きくなる傾向を示しています（図19）。

特に「被扶養者」の60歳以降での差が大きく、70歳以上については、1人当たり医療費の差が72,618円となっています（図20）。

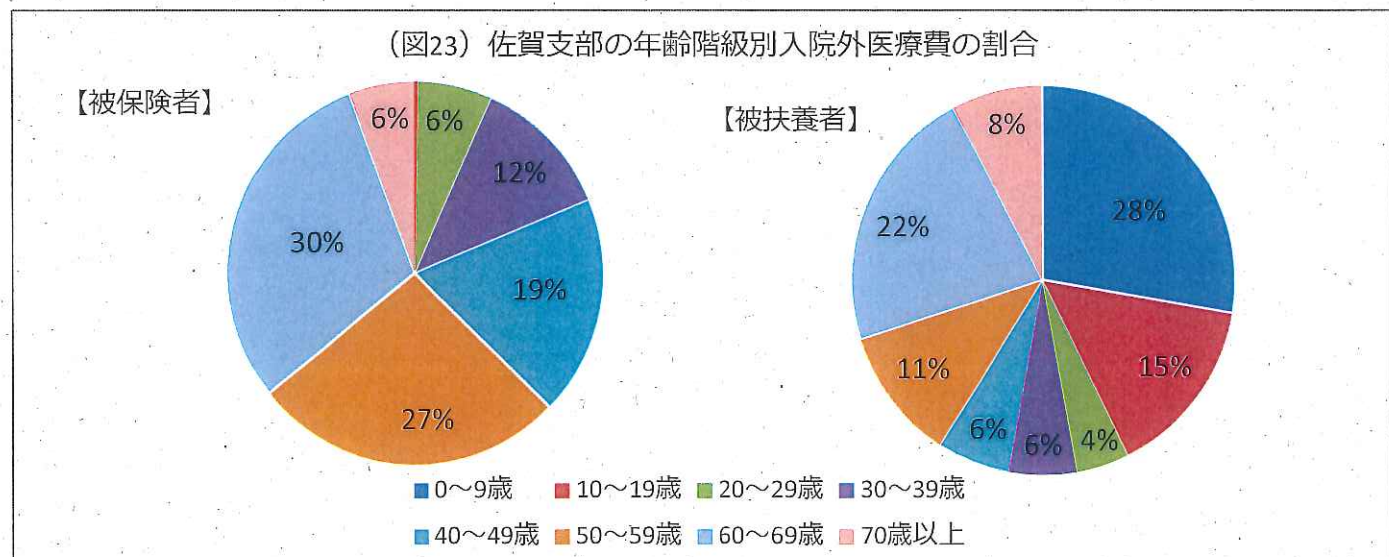
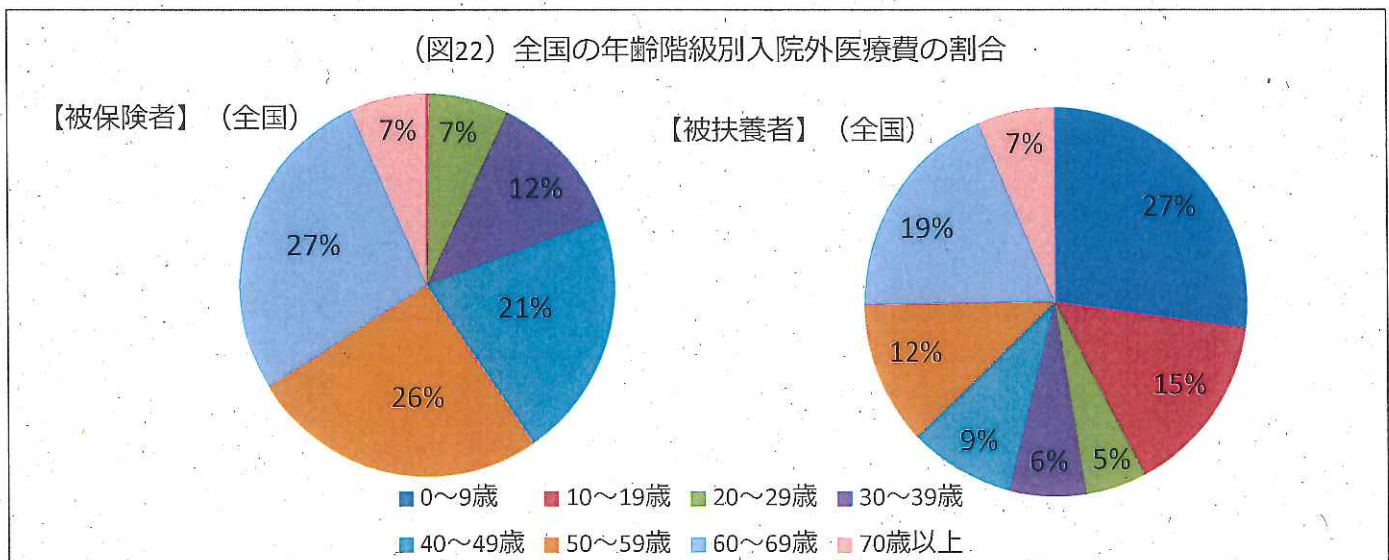
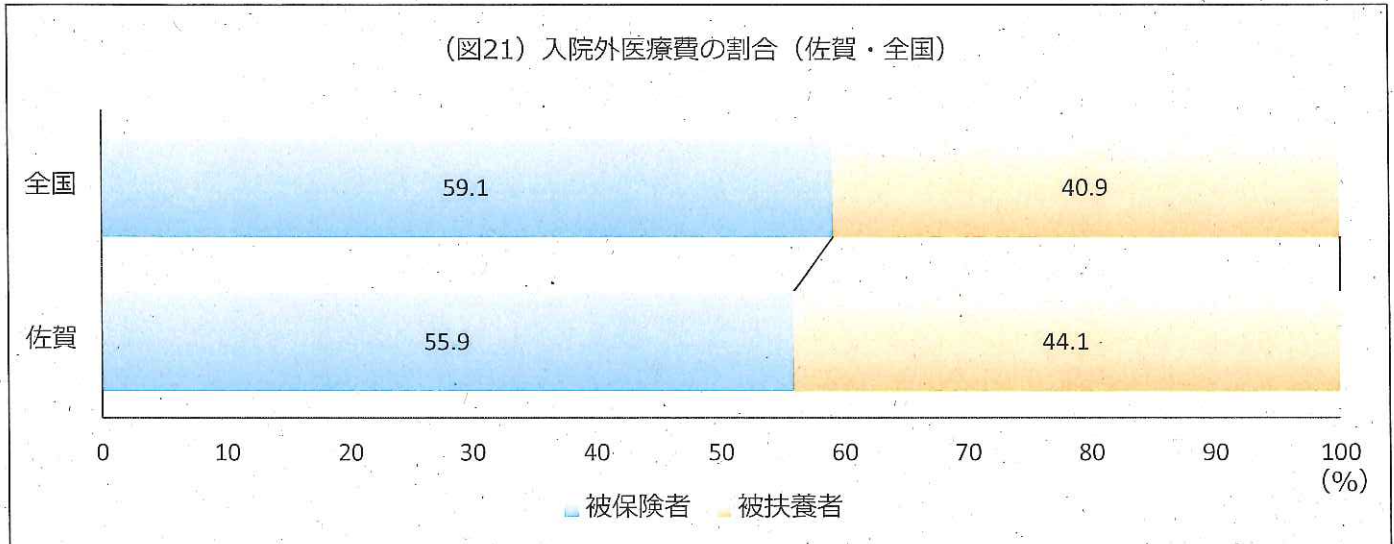


※算定ベースで算出。

## 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別入院外医療費の割合

29年度入院外医療費の割合について、佐賀支部と全国を比較すると、佐賀支部は被扶養者の割合が3.2ポイント高いです（図21）。全国の加入種別に年齢階級の割合をみると、被保険者では40歳以上が80%を占めており、被扶養者は20歳代～49歳までが約20%と低くなっています。

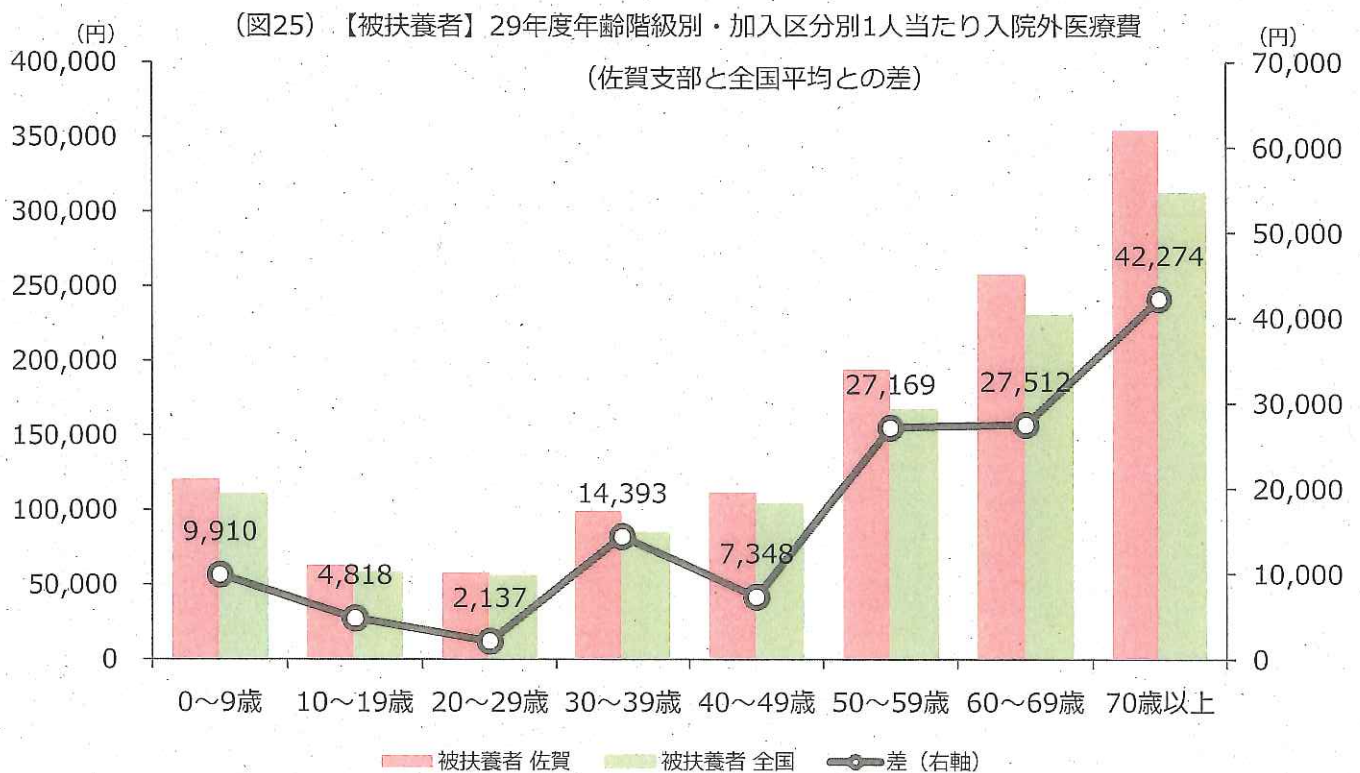
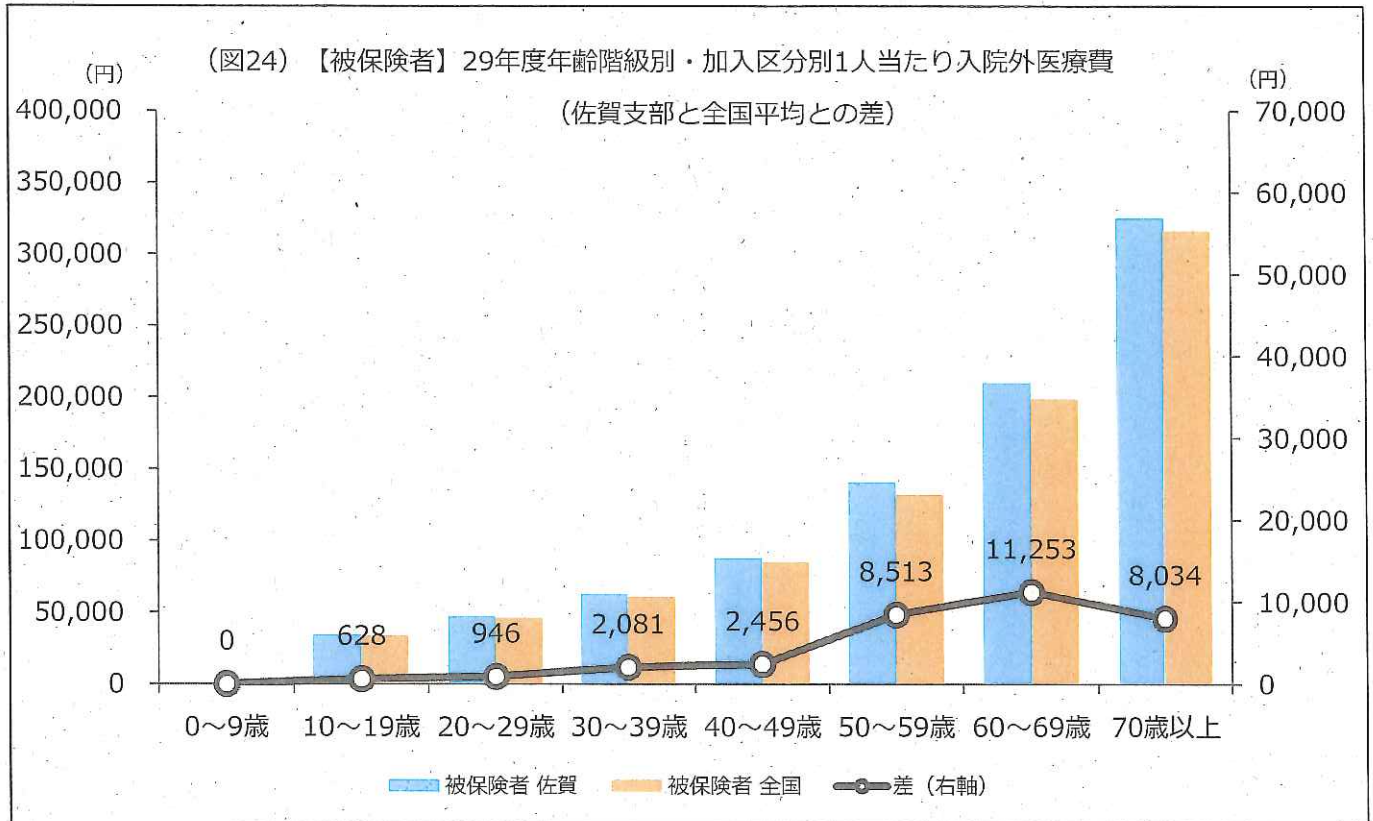
佐賀支部の加入種別に年齢階級の割合をみると、全国の割合と同様に被保険者では40歳以上が80%を占めており、被扶養者は20歳代～49歳の割合が約15%と低くなっています（図23）。



## 佐賀支部の29年度年齢階級別・区分別の1人当たり入院外医療費

佐賀支部の29年度年齢階級別・加入種別1人当たり入院外医療費について、全国平均と比較すると、被保険者被扶養者共に全国と比べて高く、年齢が上がるに伴い差も大きくなる傾向を示しています。(図24,25)。

特に、「被扶養者・50歳以上」から差が大きくなり、70歳以上については、差が42,274円となっています(図25)。



※算定ベースで算出。



## 佐賀支部の29年度疾病分類別入院医療費の割合

佐賀支部の29年度入院医療費を疾病分類別にみると、上位3位の傷病が全体の約半数を占めています。

また、全国平均と比較すると、「新生物」、「循環器系の疾患」、「消化器系の疾患」などの割合は低く、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「損傷、中毒及びその他の外因の影響」、「精神及び行動の障害」、「神経系の疾患」などの割合が高くなっています。全国平均より割合が高い「精神および行動の障害」、「神経系の疾患」は被扶養者の割合が高くなっています（図26）。

（図26）29年度疾病分類別入院医療費の割合（佐賀支部）

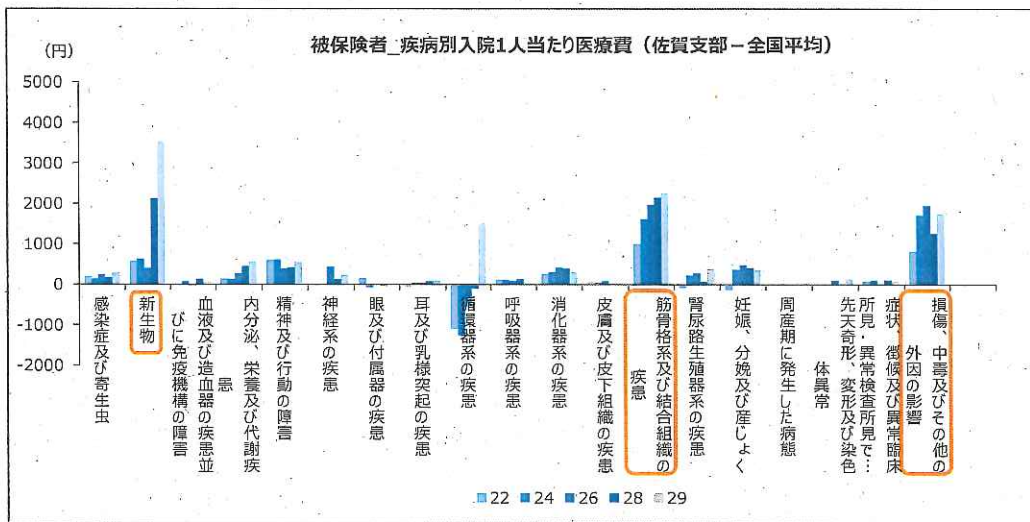
順位	傷病名	佐賀支部			全国		
		全体	被保険者	被扶養者	全体	被保険者	被扶養者
1	新生物	21.61	14.56	7.05	23.14	15.68	7.47
2	循環器系の疾患	17.67	11.50	6.17	18.84	13.88	4.96
3	筋骨格系及び結合組織の疾患	8.85	5.31	3.54	7.63	4.56	3.07
4	損傷、中毒及びその他の外因の影響	8.53	4.53	4.00	7.37	4.09	3.28
5	消化器系の疾患	5.91	3.67	2.24	6.86	4.64	2.22
6	精神及び行動の障害	5.87	1.16	4.71	3.93	0.92	3.01
7	神経系の疾患	5.53	1.25	4.28	4.35	1.42	2.93
8	呼吸器系の疾患	4.25	1.44	2.81	4.83	1.96	2.87
9	周産期に発生した病態	3.60	0.01	3.59	3.52	0.03	3.49
10	腎尿路生殖器系の疾患	3.49	1.88	1.61	3.66	2.10	1.56
11	妊娠、分娩及び産じょく	3.36	1.81	1.54	4.29	2.04	2.25
12	先天奇形、変形及び染色体異常	2.52	0.30	2.22	2.73	0.24	2.49
13	内分泌、栄養及び代謝疾患	2.38	1.33	1.04	2.13	1.15	0.98
14	感染症及び寄生虫症	1.62	0.85	0.78	1.63	0.81	0.82
15	眼及び付属器の疾患	1.34	0.87	0.47	1.73	1.17	0.57
16	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	0.85	0.36	0.49	0.93	0.41	0.52
17	皮膚及び皮下組織の疾患	0.65	0.33	0.32	0.74	0.39	0.35
18	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	0.65	0.27	0.38	0.68	0.28	0.40
19	耳及び乳様突起の疾患	0.65	0.32	0.33	0.61	0.30	0.31
	不明	0.69	0.27	0.41	0.37	0.18	0.19

□ □ □ …… 全国と比較して高い

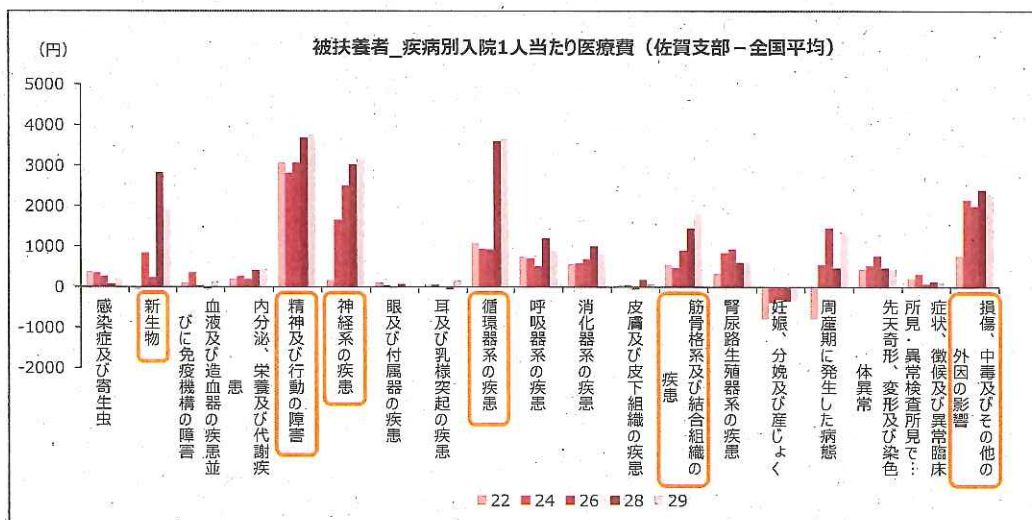
□ □ □ …… 全国と比較して低い

※算定ベースで算出。

【入院】疾病別の1人当たり医療費（被保険者）



【入院】疾病別の1人当たり医療費（被扶養者）



- 協会けんぽHPIに掲載の「加入者基本情報」及び「医療費基本情報」を使用
- 「算定ベース」の数値であり、HPIに掲載している「協会けんぽ月報」の数値（「確定ベース」）とは一致しない
- 加入者の事業所所在地の都道府県毎に集計
- 疾病分類については、複数の傷病が記載されているレセプトから主傷病を特定して分類。レセプトの主傷病があることを表すフラグがある場合はその傷病を、ない場合はレセプトに記載されている順番が最も早い（先頭に記載されている）傷病を主傷病とした

## 佐賀支部の29年度疾病分類別入院外医療費の割合

佐賀支部の29年度入院医療費を疾病分類別にみると、上位4位の傷病が全体の約半数を占めています。医療費の割合が一番高い「呼吸器系の疾患」については、被扶養者が被保険者の約2倍割合が高く、続く「循環器系の疾患」については被保険者が被扶養者の約2倍割合が高いです。

また、全国平均と比較すると、「筋骨格系及び結合組織の疾患」、「消化器系の疾患」などの割合は低く、「循環器系の疾患」、「内分泌、栄養及び代謝疾患」、「感染症及び寄生虫症」などの割合が高くなっています（図27）。

（図27）29年度疾病分類別入院外医療費の割合（佐賀支部）

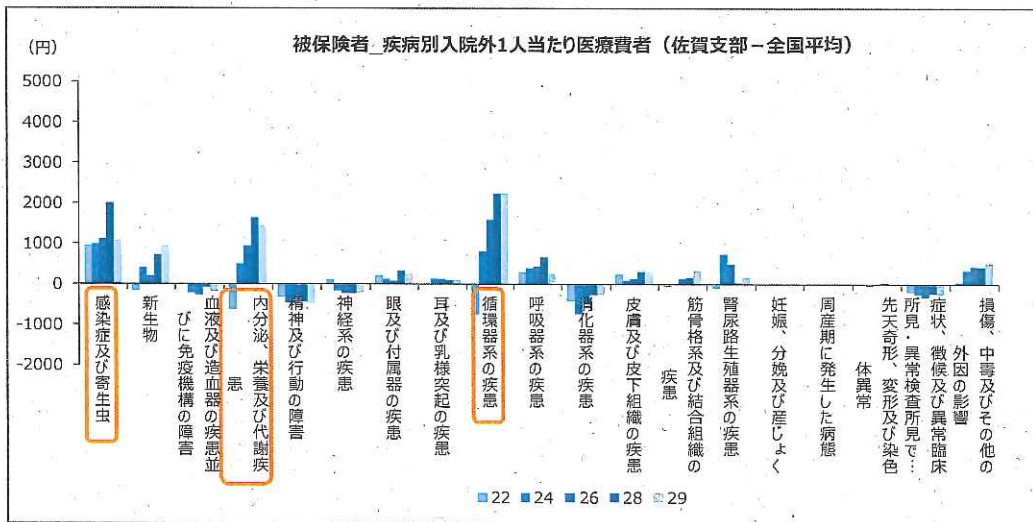
順位	傷病名	佐賀支部			全国		
		全体	被保険者	被扶養者	全体	被保険者	被扶養者
1	呼吸器系の疾患	15.26	5.45	9.81	15.47	5.97	9.50
2	循環器系の疾患	13.52	9.54	3.98	12.69	9.44	3.24
3	内分泌、栄養及び代謝疾患	11.88	7.63	4.25	11.23	7.76	3.47
4	新生物	8.90	5.86	3.04	8.92	6.06	2.87
5	筋骨格系及び結合組織の疾患	7.34	4.64	2.70	7.74	5.03	2.72
6	腎尿路生殖器系の疾患	6.59	3.94	2.65	6.70	4.32	2.38
7	消化器系の疾患	5.37	3.68	1.69	5.98	4.28	1.70
8	皮膚及び皮下組織の疾患	5.37	2.57	2.80	5.52	2.71	2.81
9	精神及び行動の障害	4.69	1.79	2.90	4.83	2.28	2.55
10	感染症及び寄生虫症	4.67	2.72	1.94	4.08	2.45	1.63
11	眼及び付属器の疾患	4.24	2.42	1.83	4.44	2.58	1.86
12	損傷、中毒及びその他の外因の影響	3.08	1.34	1.74	2.68	1.21	1.47
13	神経系の疾患	2.75	1.53	1.22	3.06	1.83	1.24
14	症状、徴候及び異常臨床所見・異常検査所見で他に分類されないもの	1.49	0.82	0.67	1.77	1.05	0.72
15	血液及び造血器の疾患並びに免疫機構の障害	1.28	0.63	0.65	1.40	0.81	0.59
16	耳及び乳様突起の疾患	1.27	0.50	0.76	1.27	0.50	0.77
17	先天奇形、変形及び染色体異常	0.81	0.13	0.68	0.73	0.14	0.59
18	周産期に発生した病態	0.36	0.00	0.36	0.38	0.00	0.38
19	妊娠、分娩及び産じょく	0.22	0.13	0.09	0.27	0.14	0.12
	不明	0.92	0.58	0.34	0.83	0.50	0.33

■・・・全国と比較して高い

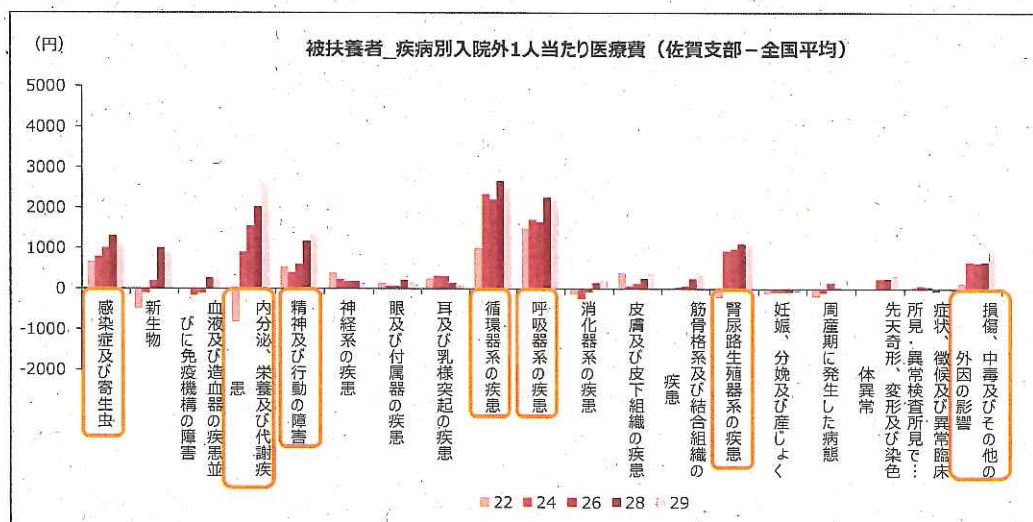
・・・全国と比較して低い

※算定ベースで算出。

【入院外】疾病別の1人当たり医療費（被保険者）



【入院外】疾病別の1人当たり医療費（被扶養者）



- 協会けんぽHPIに掲載の「加入者基本情報」及び「医療費基本情報」を使用
- 「算定ベース」の数値であり、HPIに掲載している「協会けんぽ月報」の数値（「確定ベース」）とは一致しない
- 加入者の事業所所在地の都道府県毎に集計
- 疾病分類については、複数の傷病が記載されているレセプトから主傷病を特定して分類。レセプトの主傷病があることを表すフラグがある場合はその傷病を、ない場合はレセプトに記載されている順番が最も早い（先頭に記載されている）傷病を主傷病とした

## まとめ

- 佐賀支部の29年度医療費は、対前年度比で+2.99%増加しており、協会全体の医療費の伸び率は+5.05%と全体の伸び率と比較して下回りました。
- 21年度以降の佐賀支部の1人当たり医療費は増加傾向あり、全国平均との差は年々拡大し29年度においては、25,480円の差が生じました。
- 支部別の29年度1人当たり医療費については全国1位であり、入院は全国1位、入院外は全国8位、薬剤支給は全国4位となっています。特に入院の1人当たり医療費における全国平均との差は大きく、受診率の高さに加えて、1件当たり日数が多いことも影響していると思われます。
- 佐賀支部の29年度1人当たり医療費を年齢別・区分別にみると、入院・入院外ともに、50～69歳の年代の医療費が高くなっています。また、佐賀支部の29年度1人当たり医療費を年齢別・区分別に全国平均と比較すると、入院、入院外共に60歳以上の被扶養者が全国平均との差のかい離が大きくなっています。
- 入院医療費について疾病分類別にみると、全国平均より医療費の割合が高い主な疾病は、①「精神及び行動の障害」、②「神経系の疾患」、③「筋骨格系及び結合組織の疾患」、④「損傷、中毒及びその他の外因の影響」であり、①②の疾病においては被扶養者が割合を高く占めています。
- 入院外医療費について疾病分類別にみると、全国平均より医療費の割合が高い主な疾病は、①「感染症及び寄生虫症」、②「循環器系の疾患」、③「内分泌、栄養及び代謝疾患」であり、②の疾病においては被保険者が被扶養者の約2倍割合を高く占めています。

### <考察>

- 1人当たり医療費は、「受診率」「1件当たり日数」「1日当たり医療費」の3要素に分解することができ、佐賀支部の特徴として入院、入院外ともに「受診率」と「1件当たり日数」は高く推移し、「1日当たり医療費」は低く推移していますが、これは、受診率が高く、一つの病気に長く診療日数をかけていることであり、加入者が医療機関を丁寧に利用していることの結果、1人当たり医療費が高くなっていると考えられます。
- 佐賀支部の「入院」・「外来」の被保険者と被扶養者の医療費の割合は、全国と比較してともに被扶養者が高い結果となっています。これは、扶養率が全国平均よりも高いことが起因しているものと考えられ、それが1人当たりの医療費にも影響を与えていると考えられます。  
※扶養率（平成29年度）・・・全国平均0.678 佐賀支部0.724

参考：佐賀支部加入者数

年齢階級	被保険者	被扶養者	合計
0～9歳	0	34,825	34,825
10～19歳	1,812	36,325	38,137
20～29歳	26,078	11,660	37,738
30～39歳	36,920	8,781	45,701
40～49歳	40,627	8,281	48,907
50～59歳	36,692	8,618	45,310
60～69歳	27,486	13,013	40,499
70歳以上	3,344	3,296	6,639
合計	172,959	124,798	297,757

